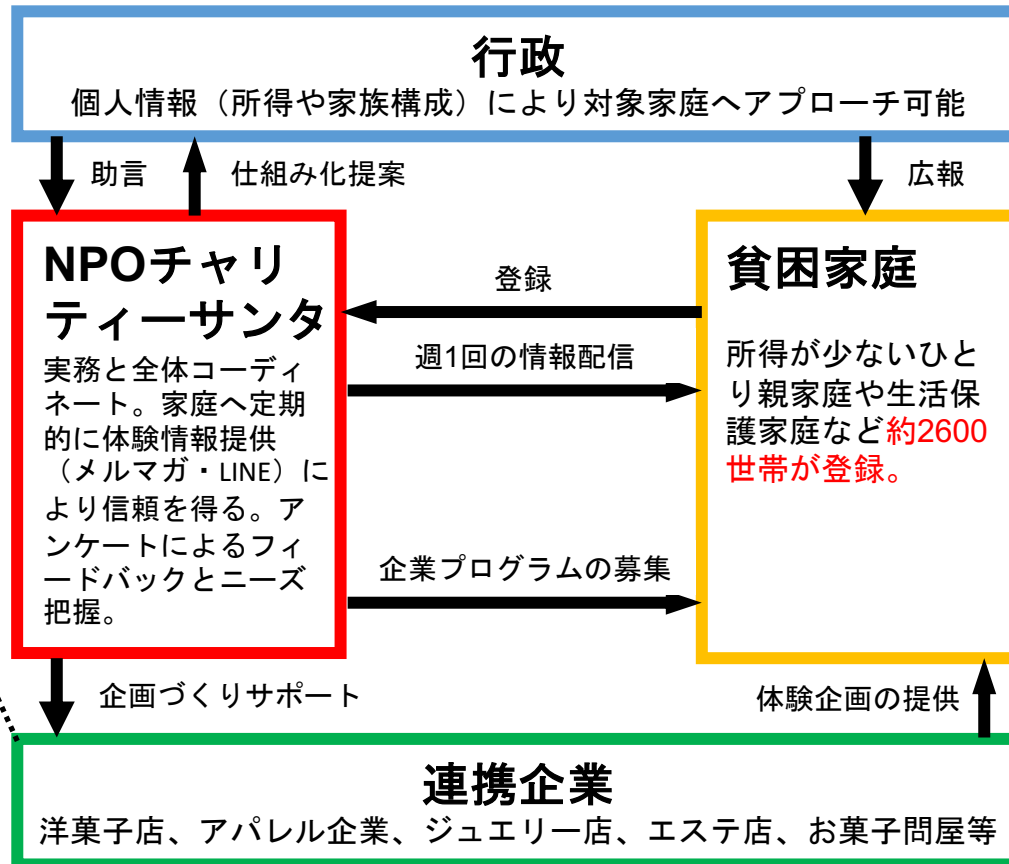


貧困家庭の抱える「子どもの体験不足」の解消に向けた 行政×NPO×企業の連携・支援ネットワーク構築事業

「貧困家庭の子どもの体験不足」という社会課題の解決に関心のある企業に対し、NPO（チャリティーサンタ）が家庭ニーズを踏まえて、積極関与を行うコーディネート業務や、家庭の申込受付・管理、コミュニケーションなどの運営補助を行っている。困窮家庭へ声かけは行政と協働することで、適切な対象にダイレクトにアプローチができ、アンケート等でニーズ確認も行った。企業などの支援側の課題としては「適切な対象がわからない（＝対象家庭へアプローチができない）」「自社の強みを生かした支援を考えると、ニーズに照らし合わせた企画がわからない（＝企画が作れない）」「通常業務もある中で、細やかな家庭対応までは行うことができない（対応できるかわからない＝不安）」というものがあり、それらを補助する形で運営をしてきた。（本ページ最下部の事例集URLを参照）現在は事例をモデルとして紹介しながら「参画できる企業を増やすこと」「実施できるエリアを拡大すること」を目指し働きかけている。

洋菓子店の事例

- 01 誕生日ケーキを困窮世帯に届けたいと考える。
- 02 自店舗でプレゼントのケーキ台数を決定、困窮世帯へ広報開始。
- 03 予想以上に希望が多く集まったが、全てに対応することは困難。また遠方への対応は受け取りの関係上、難しい。
- 04 寄付の集め方や、他のケーキ屋にも取組を拡大できるように現在検討中。



アパレル企業の事例

- 01 「子どもの体験」として店舗内での「子どもの職業体験」を提案。
- 02 親子で楽しめる要素として職業体験中のお母さんのコーディネート企画もあがった。しかし、「店舗内で実施の際、一般客の目が気になること」や「買うことができない親の気持ちなどを考え、企画を練り直す」。
- 03 アンケートから「古着提供」のニーズなどを把握。※「アパレル店員の古着」という付加価値をつけ、対象の親子をエンパワメントすることを意識した形で企画を再度検討。
- 04 実施後アンケートから、プログラムが好評であったことを把握。プログラムの継続・発展（他店舗への拡大）について社内でも検討中。



詳細はこちら（事例集URL）：<https://bit.ly/3RqmprD>